

日本プロ麻雀協会 第18期後期プロテスト

麻雀問題②

問 題

(試験時間 30分)

(令和元年7月14日実施)

注意事項

- 1) 試験開始の前に、問題の枚数と解答用紙を確認してください。
問題は、表紙を含めて3枚。解答用紙は、1枚です。
- 2) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 3) 解答にあたっては、指示のあるものについては指示に従い、
楷書で、はっきりと記入してください。
判読が困難なものに関しては、正解としません。
- 4) 問題に関する質問は、原則として受け付けません。

※解答には以下の牌譜記号を用いること

萬子：一・二・三…九 筒子：①・②・③…⑨ 索子：1・2・3…9

字牌：東→T、南→N、發→R、その他はそのままの漢字

複数牌を回答する際は、萬子、筒子、索子、字牌の順に並べ、同一種内では昇順に記載せよ。

字牌はTN西北白R中の順に記載せよ。

問題1 次の文は、当協会の受験資格についてである。(1)、(2)の空欄を漢字で埋めよ。

【受験資格】

当協会の(1)と(2)を遂行し、麻雀界の発展に貢献する意欲のある方。

問題2 次の文は、当協会競技規定の抜粋である。(1)~(4)に漢字、記号、算用数字を、(a)~(d)には語句を適切に入れよ。

第15条 連荘と輪荘

- イ. 親が次局も続けて親を行うことを連荘という。
- ロ. 親が下家に移動することを輪荘という。
- ハ. 連荘は(a)場合とする。

第24条 競技行為

- イ. 発声を必要とする競技行為は、発声を以って開始とし、行為完了を以って終了とする。
- ロ. 対局者は他家の競技行為も全て確認した上で、競技を進行させる(1)を相互に持たねばならない。

第35条 アガリの確認

- イ. アガリの宣言があった場合は、対局者全員がアガリを確認するまでは、手牌、捨て牌および壁牌を崩してはならない。
- ロ. 他家のアガリおよびアガリ点は、①(b)②(c)によって確認・了承した事とする。

第38条 成績表記

- 得点は(2)点を原点とし、それを超える点数をプラス、不足する点数をマイナスとする。
- 100点を(3)ポイントに換算して、成績表に記入する。プラスには+、マイナスには(4)の符号を付ける。

第53条 包則

- 本規定に於いては、責任払いは(d)とし、(以下省略)。

問題3 次の(1)~(5)にある麻雀に関連するカタカナを漢字で表記せよ。

- (1) リンシャンカイホウ
- (2) フリテン
- (3) フーロ
- (4) ジュンメ
- (5) チー
- (6) チャンタヤオチュウ

問題4 次の(1)~(4)にある現タイトルホルダー1名と、過去に戴冠したことのある人物1名をフルネームで書け。

*漢字表記の場合は漢字で記載すること。

**同一人物複数回答不可とする。(1),(2)共に戴冠した人がいてもその人物は1か所しか回答出来ない。

- (1) 雀王
- (2) 雀竜位
- (3) 女流雀王
- (4) オータムチャンピオンシップ

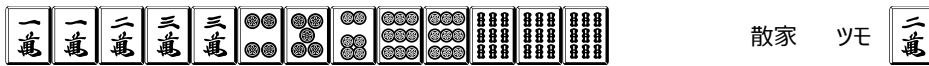
問題5 次の(1)~(4)のうち、競技規定付則にて禁止されているものを全て選べ

- (1) 卓内事案について、対局者および立会人で一旦了承した事項に対し、不服だったため次局終了前までに再提訴した。
- (2) 捨て牌を切る際に、捨て牌の名前(イーピンなど)を言った。
- (3) ツモ切り、手出しを不明瞭にすべく、小手返しをした。
- (4) 待ち牌を手牌から誤って見せてしまった。リーチをせずにその牌と同一牌でロンあがりをした。

問題6 次の(1)~(4)のうち、競技規定付則により推奨されているものを全て選べ

- (1) 対局者は常に競技がスムーズに進行するように心掛ける
- (2) 常に真摯な態度で競技する
- (3) 対局中に疑義が生じた場合は対局者同士による判断でスムーズに解決する
- (4) 選手は競技規定に則り、真剣・公正に対局に臨む

問題7 以下の文章は下記のアガリ点数が700/1300になる事を説明した文章である。(1)~(7)に適する語句を埋めよ。



上記の役はメンゼンツモ、イーペーコーで2翻。(1)を入れて4翻。
 符は、(2)が20符、(3)が2符、(4)が2符、(5)が8符で合計32符。
 この符の合計のことを(6)と呼び、一の位を切り上げて40符。
 子の支払い分は $40 \times 2^4 = 640$ 。(7)の法則により親の支払い分は(8)。
 十の位の端数をそれぞれ切り上げて700/1300となる。

問題8 以下は上位2名が通過となるトーナメント戦に終える最終半荘の南4局0本場での点数状況である。
 カッコ内は前回までのトータルポイントを表す。各問に答えよ。

東家	A	41100 点	(★41.8)
南家	B	38300 点	(★21.3)
西家	C	12300 点	(+9.4)
北家	D	8300 点	(+53.7)

注) 本来はスコア中でマイナスを表す場合、「問題2 (4)」の答えに相当する記号を用いる。本問題では便宜上マイナスを"★"で表す。

- (1) このまま全員ノーテンで流局した際の各者トータルポイントを答えよ。
- (2) Bがツモアがりによって通過できる最低アガリ点数条件を答えよ。
- (3) Aが通過するためにDに放銃することの出来る点数の上限を答えよ。
- (4) CがDからのロンアガりで通過するための最低アガリ点数を答えよ。

麻雀問題② 解答用紙

解答はすべてこの解答用紙に記入すること。

採点欄

	点
--	---

受験番号 _____

氏名 _____

問題1

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

小計 _____

問題2

a								
b								
c								
d								
(1)		(2)		(3)		(4)		

問題3

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

小計 _____

問題4

(1) 雀王	現ホルダー	過去戴冠者	(2) 雀竜	現ホルダー	過去戴冠者
(3) 女流	現ホルダー	過去戴冠者	(4) オータム	現ホルダー	過去戴冠者

問題5

--

問題6

--

小計 _____

問題3~6

問題7

(1)		(2)		(3)		(4)	
(5)		(6)		(7)		(8)	

問題8

(1)	A	B	C	D
(2)	/		(3)	(4)

小計 _____

小計 _____

採点欄

麻雀問題② 解答用紙

解答はすべてこの解答用紙に記入すること。

点

受験番号

氏名

問題1

各3点

(1)	目的	(2)	義務
-----	----	-----	----

小計 計6点

問題2

a	親のアがり時と 流局時に親がテンパイしていた			途中点アリ			
b	「ハイ」という返事						
c	自己の手牌を伏せる						
d	放銃の場合のみ						
(1)	責任	(2)	30000	(3)	0.1	(4)	△

各2点

問題3

小計 計16点

(1)	嶺上開花	(2)	振聴	(3)	副露
(4)	巡目	(5)	吃	(6)	全帯幺九

各3点

小計 計18点

問題4

(1) 現 雀王	金 太賢	過去戴冠者	鈴木達也、 小倉孝など	(2) 現 雀竜	矢島 亨	過去戴冠者	渋川難波 仲林圭など
(3) 現 女流	逢川 恵夢	過去戴冠者	崎見百合 豊後葵など	(4) 現 オータム	朝倉 ゆかり	過去戴冠者	鈴木たろう、蔵美里 綱川隆晃 いずれか

※問題4は同一人物記載不可

問題5

問題6

各2点

(1), (2), (3)

(1), (2), (4)

小計 計20点

問題4~6

問題7

カタカナ表記OK。(3),(4)順不同。

(1)	場ゾロ	(2)	副底	(3)	ツモ符	(4)	嵌張
(5)	老頭牌の暗刻子	(6)	連底	(7)	幺二	(8)	1280

各2点

問題8

小計 計16点

(1)	A +19.3	B △3.0	C ∟18.3	D +2.0	
(2)	500 / 1000	(3)	2600	(4)	16000

A~D:3点

(2)~(4):4点

本問題8に限り"△"符号の意味として"-","★"も可

小計 計24点